

子ども達に温かな思いを

三笠宮彬子女王殿下が只見小に来校

12月7日に三笠宮彬子女王殿下が只見小学校に来校されました。今回の訪問は、彬子女王殿下が只見小学校の子ども達とふれ合いたいという思いから実現されたものです。

彬子女王殿下には、5・6年生に「日本の伝統」についての特別授業をしていただき、子ども達からは全校合唱で校歌などの歌をプレゼントしました。

また、子ども達と一緒に給食を食べさせていただいたり、たくさんお話などもしさせていただき、子ども達は温かく楽しい時間を過ごしました。



▲米など町の産品も彬子女王殿下にお渡ししました



▲彬子女王殿下と一緒に過ごした時間は、子ども達にとって大変貴重な経験となりました



▲居室は完全個室で29室です



▲正面玄関前で関係者によるテープカットが行われました

関係者で施設の完成を祝いました

あさくさホーム竣工祝賀会

只見町長浜地内で整備が進められていた特別養護老人ホーム「あさくさホーム」が完成し、12月7日に同施設で竣工祝賀会が行われ、南会津郡内の町村関係者など約60名が出席しました。

内覧会後に行われた式では、施設名称の公募で最優秀賞となった吉津マチ子さんの表彰や、施工事業者の株式会社南会西建設コーポレーションへ感謝状などが贈られました。

あさくさホームは、完全個室の29室を備えた小規模な施設で、原則、所在地の只見町のみが入居の対象となります。



▲表彰される施設名称の公募で最優秀賞となった吉津マチ子さん

今回は只見町の民具を視察

只見町社会教育委員定例会

11月27日、朝日振興センターで今年度3回目となる只見町社会教育委員定例会が行われました。

社会教育委員は、社会教育法に規定された社会教育に関する計画の立案や調査研究を行い、社会教育に関して教育委員会に助言をする役割を果たす活動をしており、只見町には現在5名の委員がいます。

今回の定例会では、今年度の主要事業進捗状況の確認や、民具取蔵庫の見学などが行われ、委員の皆さんから意見などをいただきました。



▲委員の皆さんは民具の状態などを確認しました

戦後70年 平和を誓う

只見町戦没者追悼式

12月1日、朝日振興センターで只見町戦没者追悼式・慰霊祭が只見町遺族会の主催で開催され、ご遺族の方や関係者の方など約60名が参加されました。

只見町の戦没者追悼式は5年ごと開催されており、ご遺族の方の高齢化が進み年々参加される方は減少していますが、今年は戦後70年を迎え、改めて戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを次の世代へ伝えていく事の大切さを戦没者追悼式を通して感じました。



▲改めて平和を誓いました

災害時の緊急輸送や見守り事業を

ヤマト運輸株式会社と協力協定

12月3日、只見町役場でヤマト運輸株式会社と災害時における緊急輸送並びに高齢者等見守り事業の協力協定締結式を行いました。

今回の協定は、災害時に町が管理する防災用備蓄品の避難所配送や物資拠点の運営などを行う内容と、配達業務で高齢者宅等への訪問の際、訪問先で異変などを発見した場合が町へ連絡をしていただく内容となっており、さらなる安全・安心な生活を送るためヤマト運輸株式会社へ支援していただきます。



▲目黒町長とヤマト運輸株式会社の渡部会津田島支店長

継続的な美化活動が認められ

只見町道路河川愛護会に感謝状

12月9日、只見町役場で只見町道路河川愛護会に優良河川愛護団体等感謝状が贈呈されました。

これは、多年にわたり河川などの環境美化、愛護思想の普及、巡視などによる維持管理などの協力を行い、多大な成果を上げるなど、他の模範となる団体や個人に対して福島県が感謝状を贈るもので、只見町道路河川愛護会は、自主的に河川清掃や草刈りを継続的に行ってきた事が評価され、今回感謝状が贈呈されました。



▲感謝状は愛護会代表の菅家二千六さんに手渡されました